



「最高の選択」

第72代執行委員長 菅原 優 菜

私にとって桜陽高校で過ごしたこの3年間は宝物です。毎日がワクワクとドキドキの連続でした。時には厳しいことを言われたり自分自身に悩むこともありましたが、それを乗り越え自ら行動する力を身に付けることができたのはこの学校で出会った先生方や友人がいたからです。あつと言う間に過ぎ去ったこの3年間は今まで生きてきた中のどんな瞬間よりもとても濃密で充実していました。

そんな私の3年間の大部分を占めていたのは生徒会です。これまでの人生の中でもいくつかの選択をしてきましたが、生徒会執行部に入ることが私の人生の中の最高の選択だった、と胸を張って言えるほど私にとって大切な存在です。

私が生徒会に入ったのは周りの誰よりも遅い5月後半ぐらいの時期でした。中学校で生徒会経験のあった私は高校でも生徒会に入りたいと思っていました。高校生活で勉強と部活動の両立に自信がなく、長い間迷ったのちに生徒会入ることを決めました。初日、ほかの執行部員がパソコンやコピー機を使いこなし、先輩の仕事を率先して手伝う姿を見て、とてつもない焦りを感じたのを覚えています。そこから必死に周りにしがみつき何とか仕事を覚え、だんだんとできることが増え、生徒会として活動することがとても楽しくなりました。それと同時に多

くの悩みも持つようになりました。生徒の代表として常に緊張感がついて回ったり、生徒会に対する熱い思いゆえに互いの意見が対立することが多くありました。ですがそんなときに一緒に力を合わせ困難を乗り越えたのは生徒会の仲間たちでした。どんな時も互いを尊重しあえる素敵な仲間です。

私は生徒会活動から沢山のことを学びました。どんなことにも真剣に取り組むことの大切さや、感謝の心です。当たり前のようで忘れがちなことですがこれを心掛けるだけで日常が何倍も楽しく素敵なものになります。今後どんな困難に直面してもこの力で乗り越えていけると思っています。

今日までこうして私たちが充実した学校生活を送ることができたのは校長先生をはじめとする先生方、桜陽会の方々、PTAの方々、地域の方々、そして先輩方や後輩たち、関わるすべての方々のおかげです。本当にありがとうございます。

春から私たちは夢に向かって、それぞれの道に進んでいきます。桜陽高校で学んだことを生かし、どんなことにも真剣に取り組み気持ちを忘れずに日々精進していきます。私自身、今後の新しい環境に対して不安な気持ちもありますが、きっと大丈夫です。最高の選択によって得られた経験や多くの素敵な思い出を糧にどんな困難も乗り越えて見せます。



「あなたを成長させてくれる人」

学 校 長 白 鳥 真 次

令和2年3月1日、北海道小樽桜陽高等学校を卒業し、歴史と伝統を誇る同窓会「桜陽会」へ入会した皆さん、卒業並びに入会おめでとうございます。

本校の同窓会は、明治43年(1910年)に設立され、昭和6年(1931年)に名称を「桜陽会」とし現在に至っています。卒業生の皆さんも知っているとおおり、本校の校名「桜陽」は、昭和25年(1950年)に「桜陽会」からいただいたもので、同窓会の名称が先にあり、その後その名称を校名とした、極めて希な校名の由来を誇っています。

今年卒業する皆さんは、「高校72期」となりますので、桜陽会の集まりの際は「高校72期の〇〇です」と挨拶してください。

さて、あるビジネス誌に「あなたを成長させてくれる人」のタイトルで、マーケティングコンサルタントの酒井光雄さんが次のように書かれていました。

普段どんな人と一緒にいるかによって、人生が決まると言っても過言ではない。あなたが大事にすべき人とはどんな人か、逆にどうすれば、あなたが求められる存在であり続けられるか。

【仕事に没頭している人】
どんな仕事でも熱心に取り組み、自分の仕事に誇りと自信を持っている人は、大切にする価値のある人だ。自分の仕事に誇りを持って取り組んでいる者同士なら、互いによい刺激になり、啓発し合える関係でいられる。

【過去の話でなく、明日の話ができる人】
過去を懐かしむばかりで、明日の話ができない人は、進歩や進化をしていない可能性がある。昨日は今日のために、今日は明日のためにある。

【他人の幸せを喜べる人】
相手の幸せや成功を自分のことのように喜べ

る人は貴重だ。そうできる人は、自身も幸せに暮らしている。もし周りに一人でも存在したら、その人はいつも味方になってくれるあなたの親と並ぶ、価値ある人だ。

【人の痛みを肌で理解できる人】
人が受けた苦しみや心の痛みを肌で理解し、共有し、その解決に向けて動いてくれる人は傍にいたとしたら、あなたはとても恵まれている。人の価値は、自分が苦境にいるときほどわかる。

【価値観が一致している人】
価値観を共有できる人の存在は何より貴重だ。自信をなくし、不安が襲う事態になっても、価値観が同じ人からの助言は素直に受け入れられる。

【愚痴や不満が会話に出ない人】
誰でも仕事や家庭のことで、悩みや問題を抱えている。だが、抱えている問題や課題を前向きに解決しようと試みている人なら、その話題になっても、愚痴や不満にはならない。

【再会したとき、自然と笑顔になれる人】
互いに自然と笑顔で出迎えられる関係なら、何より大切にすべきだ。その人が、自分の笑顔を生み出してくれるだけで、幸せを実感でき、心休まる。

普段から自分を磨いている人には、必ずチャンスが訪れます。自己研鑽に努め、努力を重ねる人のことを、心ある人たちはその姿を見ており、飛躍する機会を与えてくれます。そのチャンスを与えてくれるのは、とても限られた、価値ある人たちなのです。

最後に、桜陽会の皆さんに心より感謝申し上げますとともに、今後とも本校の教育活動に一層のご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。